

〔海外研修の記録〕

グローバルスタディ I 韓国の海外研修の感想

大 槻 翔 理

(長岡大学産業経営学部産業経営学科3年生)

まずは今回のグローバルスタディ I の韓国での研修に参加しようと思った理由を述べたい。グローバルスタディに参加するのは今回が二回目で、前はアメリカのワシントンD.C.へ行き、そこで日本に居るだけでは決して出来ないような素晴らしい経験を経験することが出来たため、ぜひともまた海外に行って様々な経験をしてみたいと思っていた。そのため今回は韓国に行くというのを聞いてすぐに参加を決意した。

前は引率の教員と学生のみで行われたが、今回は社会人向け講座で「韓国に行ってみよう」というものがあり、そこに参加した社会人の方々と一緒に行くこととなった。行く前はあまり面識のない社会人の方々と一緒に行くことに対して多少の不安はあったが、実際に行ってみればすぐに打ち解け、色々と面白い話も聞けて一緒に行けてよかったと思えるほどになった。

8月30日（初日）

この日の朝、新潟空港から出発し、韓国の仁川（インチョン）国際空港へと向かった。2時間ほどで到着し、改めて韓国という国がとても身近にあるものなのだなと感じた。到着後はバスに乗ってソウル市内へと移動し、昼食を食べた。その後は大統領官邸の青瓦台や朝鮮王朝時代の宮廷だった景福宮、冬ソナのロケ地としても使われた昔の貴族が住んでいたという瓦作りの屋敷街などを見て回った。

〈写真1〉青瓦台の近くで



〈写真2〉瓦作りの屋敷街で



8月31日（2日目）

この日は朝からソウルを離れ、バスで南に3時間から4時間ほど行ったところにある安東（アンドン）という場所に向かった。安東は引率の教員である権先生の故郷であり、このあたりは古き良き田舎の風景が残っている場所だった。ここでは歴史のあるお寺である浮石寺や、川に囲まれており昔の韓国の生活模様がそのまま残っている河回村などを見て回った。

この日は山奥にある宿泊施設に泊まったが、本当に周りに何もなくて、とても静かで素晴らしい場所だった。この宿泊施設のご主人は詩人でもあり、自分の詩集も出しているという方で、夜に皆で集まり詩の朗読などをして楽しく過ごした。

〈写真3〉浮石寺にて



〈写真4〉河回村の伝統家屋



9月1日（3日目）

この日の午前中は権先生の実家近くまで行ってみたい、先生の従兄弟がやっている手作りの紙工房を見学させてもらったりした。ここで作っている紙は日本の和紙のようなもので、無形文化遺産として国からも認められている素晴らしい物である。午後からは大邱（デグ）の漢方の病院に立ち寄った。韓国では漢方医療にも厳格な基準が設けられており、かなりの実力がなければなることが出来ない難しい職業とのことである。参加者の大半が漢方のお医者さんに脈を診てもらい、針治療や悪い血を抜く治療などを受けた。私自身も針とお灸をしてもらい、治療後は体がボカボカとして何だか軽くなったように感じた。

〈写真5〉和紙工房にて



〈写真6〉漢方医院にて



9月2日（4日目）

この日の午前中は世界文化遺産にも登録されている水原華城や韓国の昔の文化を再現した民俗村などを見学した。午後からはアメジスト（紫水晶）を中心とした宝石を扱う会社や伝統的な焼き物である青磁の工房を見学した。その後は南大門市場を散策した。南大門市場では呼び込みを聞くだけでも面白く、みんな日本語で様々な呼びかけ

をしていた。中でも面白いと思ったのが「偽物あるよー！」と呼び込みをしているお店で、こういう呼び込みの仕方もありなのかと感心させられた。

〈写真7〉韓国民俗村にて



〈韓国8〉陶芸工房にて



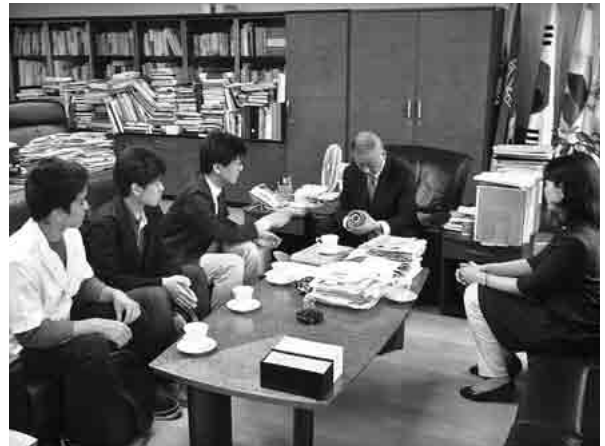
9月3日（5日目）

この日は社会人の方たちとは別行動をとり、姉妹校の柳韓大学へ行った。このころはちょうど新型インフルエンザが猛威を振っており、もしかしたら韓国の学生との交流は出来ないかもしれないと言われていたが、大学側のご厚意で無事に交流させてもらうことが出来た。また、学生だけでなく学長にまで会うことができ、韓国の大学の雰囲気を存分に感じる事が出来た。

〈写真9〉柳韓大学の学生との交流



〈写真10〉柳韓大学の学長先生への表敬訪問



9月4日（6日目）

この日は北朝鮮との国境である板門店に行くツアーに参加した。板門店はかなりの緊張に包まれており、実際に板門店に入る前に様々なルールの説明があり、それを守らなかった場合には何が起きても自己責任であるという誓約書にサインしなければならないという厳しさだった。中に入ってみるとほんの数十メートル先には北朝鮮の兵士が居て、この場所ではまだ戦争の緊張感が続いているのだと強く感じた。ツアーから戻ったあとはソウル市内にある大きな書店や明洞（ミョンドン）周辺を回り、お土産物などを買った。夜には韓国のミュージカル美笑（MiSo）を鑑賞した。ミュージカル終了後には記念撮影の時間が設けられ、とても盛り上がっていた。

〈写真11〉 向こうは北朝鮮



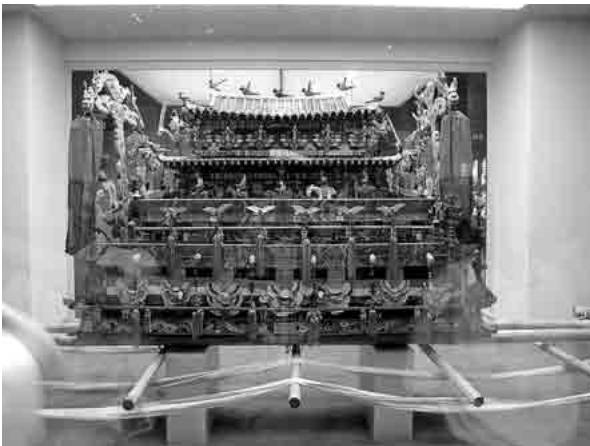
〈写真12〉 公演が終わって



9月5日（最終日）

最終日であるこの日は朝鮮王朝の第二の王宮である昌徳宮や昔使われていた道具や生活の様子などを展示した国立民俗博物館、朝鮮時代の歴代の王や王妃を祀るために作られた宗廟を見学した。宗廟では毎年5月に盛大な祭礼が行われるらしく、機会があればそれもぜひ実際に見てみたいと感じた。その後は行きと同じく仁川国際空港に行き、何事もなく無事に帰国しました。

〈写真13〉 民俗博物館にて



次の機会があれば今度はまた違う国に行って様々な経験をしたり、新しい知識を得たりしてみたい。